

14-(1) ライフライン関係  
(水道・指定給水工事店)

## 給水区域及び給水拠点表

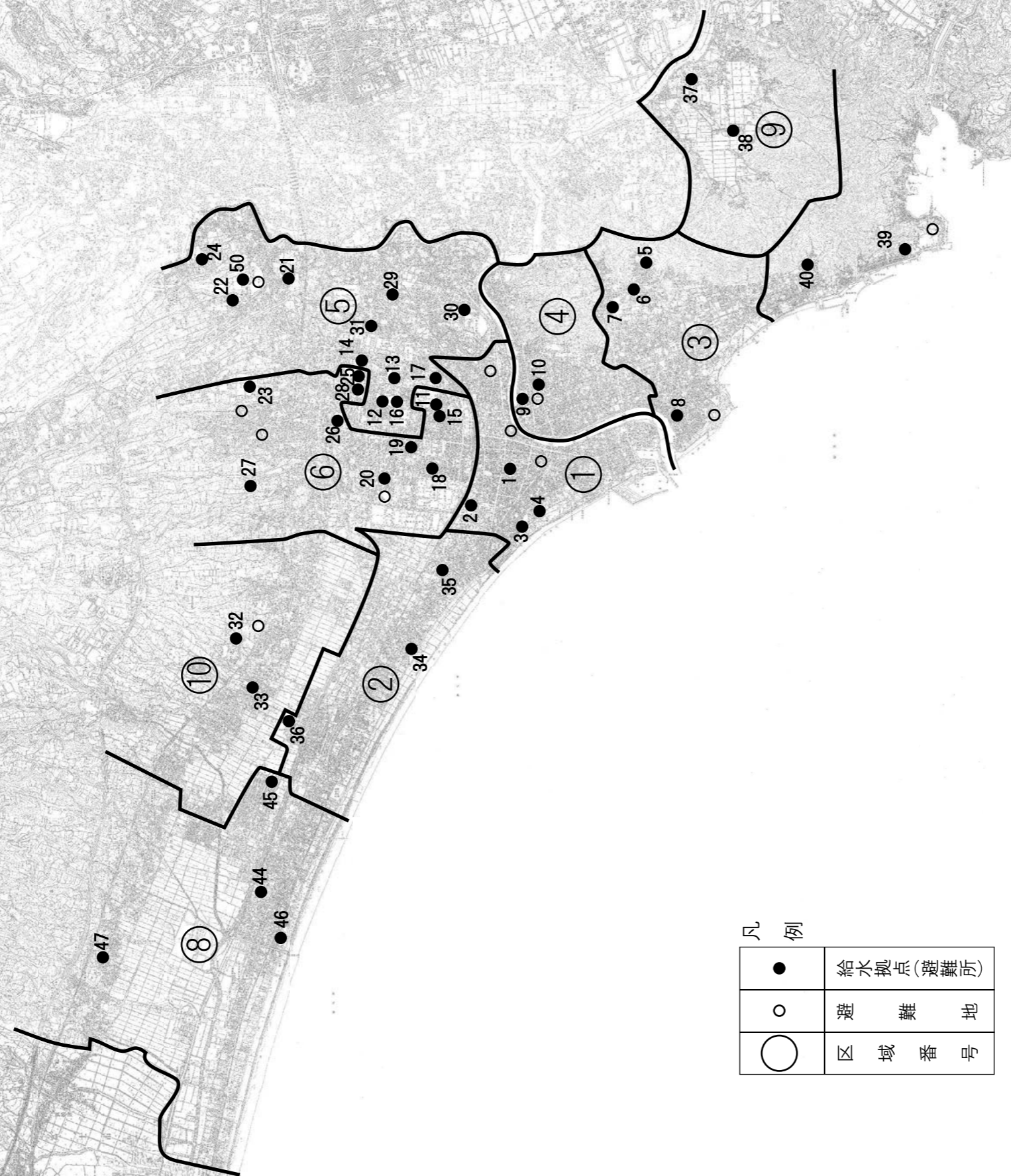
給水区域 番 号	給水区域及び給水拠点	圏域内 人 口	取水する水源地及び配水池
第 1	(1)第一小学校 (2)第一中学校 (3)第二中学校 (4)県立沼津西高等学校	16,891	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉、双葉、木瀬川水源地</li> <li>・ 岡宮、八重、中瀬、木瀬川配水池</li> </ul>
第 2	(34)片浜小学校 (35)片浜中学校 (36)今沢小学校	14,900	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳沢、原、双葉水源地</li> <li>・ 柳沢、原、椎路配水池</li> </ul>
第 3	(5)香貫小学校 (6)第三中学校 (7)県立沼津工業高等学校 (8)我入道コミュニティ防災センター	18,990	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉、木瀬川水源地</li> <li>・ 八重、中瀬、木瀬川配水池</li> </ul>
第 4	(9)第四小学校 (10)沼津市総合体育館	9,377	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉、木瀬川水源地</li> <li>・ 八重、中瀬、木瀬川配水池</li> </ul>
第 5	(12)第五中学校 (13)市立高等学校・中等部 (14)加藤学園高等学校 (16)県立沼津聴覚特別支援学校 (17)沼津中央高等学校 (21)門池小学校 (22)門池中学校 (24)沼津工業高等専門学校 (29)大岡小学校 (30)大岡南小学校 (31)大岡中学校 (50)県立工科短期大学校沼津キャンパス	37,471	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉、足高、木瀬川、北小林水源地</li> <li>・ 岡宮、北小林、柏葉尾、木瀬川、足高 1.2配水池</li> </ul>
第 6	(11)第五小学校 (15)県立沼津視覚特別支援学校 (18)開北小学校 (19)桐陽高等学校 (20)誠恵高等学校 (23)県立沼津東高等学校 (25)飛龍高等学校 (26)金岡小学校 (27)沢田小学校 (28)金岡中学校	38,194	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足高、沢田、双葉水源地</li> <li>・ 岡宮、東熊堂、西熊堂、沢田、足高 1.2配水池</li> </ul>

第7	(39) 静浦小中一貫学校 (40) 沼津市文化財センター (41) 旧内浦小学校 (校舎) (42) 旧西浦小学校 (43) 長井崎小中一貫学校	7, 6 2 2	・内浦、河内、古宇、江梨 水源地、 ・静浦、重須、河内、古宇、 江梨配水池
第8	(44) 原小学校 (45) 原東小学校 (46) 原中学校 (47) 浮島小学校	1 9, 9 1 9	・原、青野、井出、石川水源地 ・原、青野、井出、石川配水池
第9	(37) 大平小学校 (38) 大平中学校	3, 4 4 5	・泉水源地
第10	(32) 愛鷹小学校 (33) 愛鷹地区センター	1 4, 6 1 4	・原、柳沢、青野水源地 ・原、柳沢、青野、椎路配水池
第11	(48) 戸田B & G海洋センター (49) 戸田地区センター	2, 2 2 3	・第3、5、井田水源地 ・達磨橋第1・第2、御浜、柳 ヶ窪、烏ヶ原、舟山、井田 配水池

( )内の数字は給水拠点図にある給水拠点の番号を示す

※圏域内人口については、R7年4月1日現在の推計値

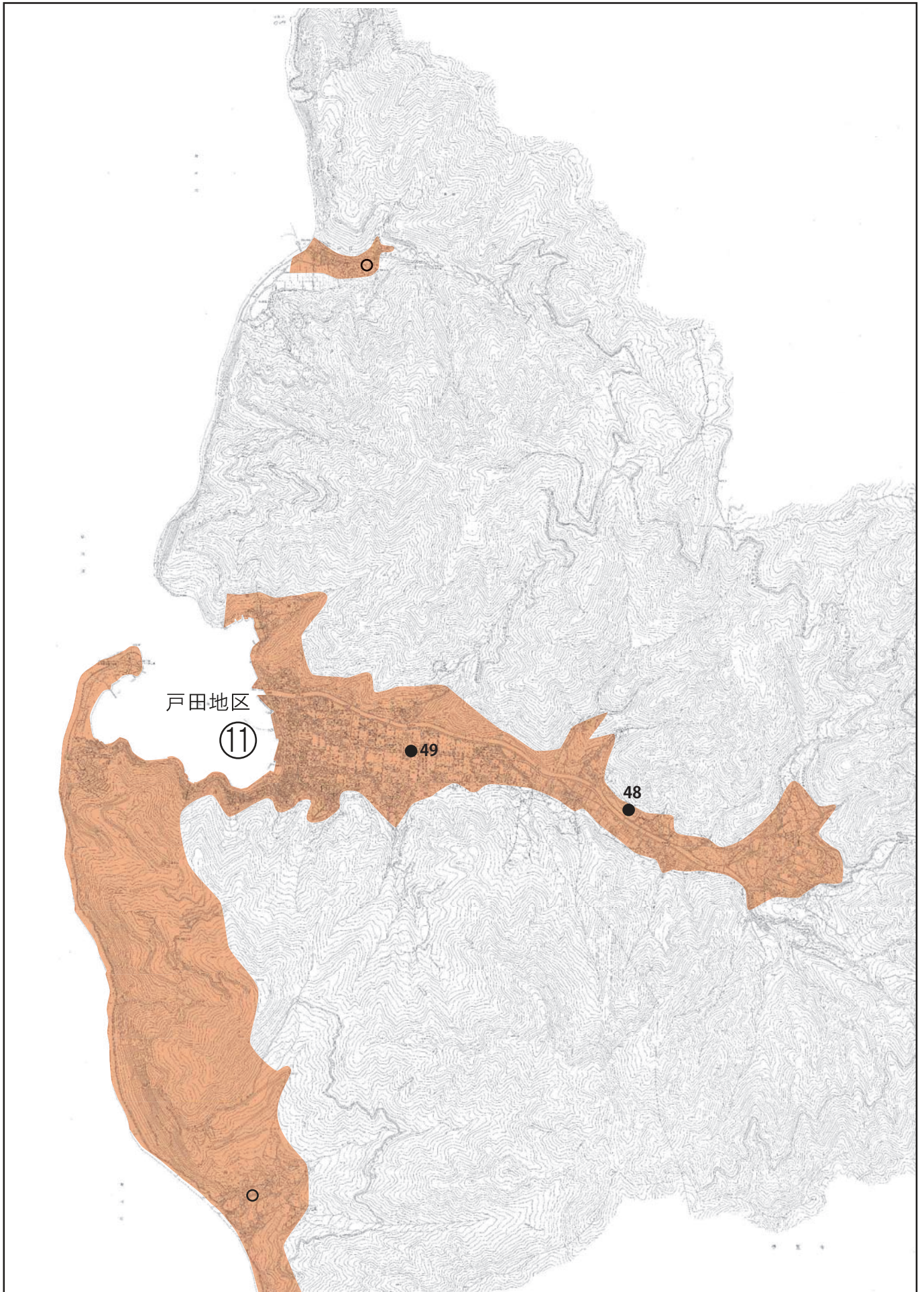
# 給水区域及び給水拠点図



凡 例

●	給水拠点(避難所)
○	避 難 地
○	区 域 番 号

# 給水区域及び給水拠点図（戸田地区）



## 給水車車両、給水機器一覧表

区分	種 別	容 量	台 数	保 管 場 所	応急給水活動の内容	
1	移動給水車	4,000ℓ	1台	双葉水源地	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のものよりも給水の機動性が高いので、特別給水拠点を優先し、給水活動を行う。</li> </ul>	
		3,000ℓ	1台	水道部庁舎		
		2,000ℓ	1台	戸田浄化センター		
		2,000ℓ	1台	双葉水源地		
2	給水タンク (アルミニウム製)	1,500ℓ	1台	双葉水源地	<ul style="list-style-type: none"> <li>運搬車に積載、取水場所から注水し、所定の給水拠点へ搬送、配備されているキャンパス水槽又は、住民個々の容器へ給水を行う。</li> </ul>	
		1,000ℓ	26台	岡宮配水池		6
				泉水源地		4
				双葉水源地		2
				足高第一配水池		2
				静浦配水池		2
				沢田配水池		2
				井出水源地		2
				柳沢水源地		1
原配水池	3					
八重配水池	2					
3	車載用給水容器 (ビニール製)	1,000ℓ	1袋	水道部庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>運搬車に積載、取水場所から注水し、所定の給水拠点へ搬送、配備されているキャンパス水槽又は、住民個々の容器へ給水を行う。</li> </ul>	
4	給水袋	6ℓ	12,000枚	水道部庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要とする給水拠点到搬送し順次使用する。</li> </ul>	
5	キャンパス水槽 (蛇口ホース付)	1,000ℓ	3槽	水道部庁舎	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点の受水槽と住民への給水用として、自主防災組織が中心となり活用する</li> </ul>
				沢田配水池	1	
				石川配水池	1	

区分	種 別	容 量	台 数	保 管 場 所	応急給水活動の内容
6	給水中継用キャンバス水槽	7,000ℓ	2槽	水道部庁舎 原配水池	・自衛隊による海上船舶給水中継地用として活用。
7	水中モーターポンプ	φ50 0.25m <sup>3</sup> /分	3台	岡宮配水池2 原配水池	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取水地等に配備、給水車、給水タンク等への取水用として使用。</li> <li>情報連絡用無線装置及び照明用予備電源として使用。</li> </ul>
		φ50 0.2m <sup>3</sup> /分	3台	八重配水池 柳沢水源地 静浦配水池	
		φ50 0.16m <sup>3</sup> /分	2台	北小林配水池 椎路配水池	
		φ50 0.13m <sup>3</sup> /分	7台	双葉水源地 足高第一配水池 沢田配水池 石川配水池 井出水源地 東熊堂ポンプ場 西熊堂ポンプ場	
8	発電機	100V 1.6KVA	1台	泉水源地	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取水地等に配備、給水車、給水タンク等への取水用として使用。</li> <li>情報連絡用無線装置及び照明用予備電源として使用。</li> </ul>
		200V 5.5KVA	2台	岡宮配水池 2	
		100V 1.5KVA	1台	双葉水源地	
		100V 0.9KVA	17台	八重配水池 足高第一配水池 北小林配水池 静浦配水池 沢田配水池 石川配水池 椎路配水池 井出水源地 柳沢水源地 東熊堂ポンプ場 西熊堂ポンプ場 第3水源 柳ヶ窪配水池 河内水源地 江梨配水池 古宇配水池 井田配水池	
9	携帯無線機		8台	水道部庁舎 2 泉水源地 6	・自動車常設無線のほか、情報連絡用として使用。
10	カメラ	デジタルカメラ	1台	水道部庁舎	・被害状況など記録撮影用として使用。

上水道施設一覽表

区別	配水区域	施設名	運転方式	取水能力 (m <sup>3</sup> /日)	井戸の規模			ポンプ能力					送水場所	震災容量 1人1日当 たり200ℓ
					本数	径	深 (m)	口径 (mm)	出力 (KW)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分)	台数		
東部 中部 内浦 清水町	泉 水源 地 (湧)	有人	80,000	7本(深)	1~5号 φ300	30	200	260	65	18.0	4	送水	岡宮・中瀬・八重 配水池、 大岡、清水町	400,000人
					6・7号 φ450	37	450	450	73	25.0	1	"		
								270	73	15.0	3	"		
東北部	北小林水源 地	無人	4,450	2本(深)	1号φ350	175	150	90	80	4.0	1	取水	北小林配水池	22,250人
					2号φ400	250	125	45	90	1.8	1	"		
中北部	足高水源 地	無人	2,410	2本(深)	1号φ350	250	125	45	120	1.5	1	取水	ポンプ井 " 足高第二配水池	12,050人
					2号φ200	160	80	18.5	120	0.63	1	"		
							150	30	60	2.0	2	送水		
水	沢田水源 地	無人	4,930	2本(深)	1・2号 φ350	250	150	37	65	2.38	1	取水	沢田配水池	24,650人
						250	150	45	65	3.0	1	"		
							150	55	72	3.0	1	取水		
西北部	柳沢水源 地	無人	6,820	2本(深)	1号φ300	100	150	55	72	3.0	1	取水	ポンプ井 " 柳沢配水池	34,100人
					2号φ400	150	150	75	45	5.2	1	"		
						200	200	55	58	3.5	4	送水		
西北部	井出水源 地	無人	5,480	3本(深)	1号φ300	76.1	150	15	15	3.0	1	取水	ポンプ井 " " 井出配水池	27,400人
					2号φ300	100	150	15	15	3.0	1	"		
					3号φ450	125	150	30	30	3.5	1	"		
西北部	青野水源 地	無人	1,120	2本(深)	1号φ250	150	80	3.7	15	0.75	1	取水	ポンプ井 青野配水池 "	5,600人
					2号φ350	210	125	45	80	2.0	1	"		
							65	11	70	0.6	2	送水		
西南部	石川水源 地	無人	2,870	2本(深)	1号φ300	200	125	30	80	1.6	1	取水	石川配水池	14,350人
					2号φ350	203	125	30	80	1.45	1	"		
西南部	原水源 地	無人	5,140	2本(深)	1・2号 φ500	200	150	26	25	4.0	2	取水	原配水池 直送 "	25,700人
						200	200-150	55	50	4.2	2	配水		
							200-150	55	50	4.5	1	"		
中部	双葉水源 地	無人	3,500	1本(深)	1号φ350	250	150	26	34	3.0	1	取水	ポンプ井 直送	17,500人
							150	30	40	2.5	2	配水		
大岡南部	木瀬川水源 地	無人	13,440	2本(深)	1号φ350	80	250	22	10	8.0	1	取水	木瀬川配水池 " 直送 "	67,200人
					2号φ350	90	200	15	10	5.0	1	"		
							150	75	60	4.0	3	配水		
					250	250	140	60	8.0	1	"			

区別	配水区域	施設名	運転方式	取水能力 (m <sup>3</sup> /日)	井戸の規模			ポンプ能力					送水場所	震災容量 1人1日当たり 200ℓ	
					本数	径	深 (m)	口径 (mm)	出力 (KW)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分)	台数			用途
水	内浦 西浦	河内水源地	無人	1,690	1本(深) 1号φ350 ～φ250	123	125	37	75	2.0	1	取水	河内配水池	8,450人	
		内浦水源地	無人	420	1本(深) 1号φ350	61	100	30	130	1.0	1	取水	重須第一配水池 (第二配水池)	2,100人	
		古宇水源地	無人	640	1本(深) 1号φ300	162	100	30	110	1.0	1	取水	古宇配水池	3,200人	
		江梨水源地	無人	230	1本(深) 1号φ200	110	65	11	110	0.35	1	取水	江梨配水池	1,150人	
		新田水源(伏)	無人	180										新田配水池	900人
	戸田	第1水源(湧)	無人	1,010										(達磨橋 第1配水池)	5,050人
		第2水源(表)	無人	220 (休止)										(達磨橋 第1配水池)	
		雉ヶ尾水源(湧)	無人	2,000										達磨橋 第1配水池	10,000人
		蓼原沢水源(表)	無人	250 (休止)										(達磨橋 第1配水池)	
		第3水源	無人	1,200	1本(深) 1号φ200	60	100 65	5.5 11	20 80	1.1 0.5	1 2	取水 配水	ポンプ井 直送	6,000人	
	井田	第4水源	無人	670 (休止)	1本(深) 1号φ250	57	100	26	85	1.0	1	取水	直送		
		第5水源	無人	2,620	1本(深) 1号φ300	100	125	37	70	2.0	1	取水	達磨橋 第3配水池	13,100人	
		赤ノ田水源(表)	無人	154										井田配水池	1,070人
		井田水源	無人	60	1本(深) φ200	152.5	65	7.5	75	0.28	1	取水			
		柏葉尾 加庄ポンプ場	無人				50	3.7	36	0.32	2	配水	直送	受水槽 30m <sup>3</sup>	
ポ ン プ 場	東北部	岡宮ポンプ場	無人			150	75	98	2.6	2	送水	足高第一配水池			
		西熊堂 ポンプ場	無人			125	30	68	1.33	2	送水	西熊堂配水池	受水槽 57m <sup>3</sup>		
	中北部	西熊堂(低区) 加庄ポンプ	無人			80	7.5	30	1.2	2	配水	直送	受水槽 300m <sup>3</sup>		



(管路延長一覽表)

区 分		令 和 5 年 度 末 合 総 延 長
用	導水管	500mm未満 小 計
	送水管	500mm未満 500～1,000mm未満 1,000mm以上 小 計
途	配水管	50mm以下
		75mm
		100mm
		125mm
		150mm
		200mm
		250mm
		300mm
		350mm
		400mm
		450mm
		500mm
		600mm
		700mm
800mm		
900mm		
1,000mm		
1,200mm		
小 計		
合 計		
管 種 別	鑄 鉄 管	26,114 (2.3%)
	ダ ク タ イ ル 鑄 鉄 管	749,151 (69.4%)
	鋼 管	34,420 (3.2%)
	石 綿 セ メ ン ト 管	608 (0.1%)
	硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	212,999 (19.7%)
	ポ リ エ チ レ ン 管	56,769 (5.3%)
	合 計	

## 水道部所有機械器具一覧表

(水道部庁舎内)

名 称	型 式	数 量	備 考	
パイプカッター (キルカッター)	φ 75～φ 150	1台		
パイプカッター (エンジンカッター)	EC7600S 他	3台		
コスモ不断水穿孔機	φ50～φ 75	2台		
〃	CO2型 φ50～φ200	1台		
電 動 穿 孔 機	A-2 φ13～φ 50	1台		
〃	PMS 他 φ25～φ 50	2台		
パイプねじ切機	REX 150A φ75～φ150	1台		
〃	REX N50A φ13～φ 50	1台		
エンジン排水ポンプ	TSP-80N 他	3台		
水 中 ポ ン プ	φ50	5台		
エ ン ジ ン 発 電 機	SGI-25S 他	2台		
〃	IEG-5500M	2台		
コ ン プ レ ッ サ ー	DIS-55LB 他	2台		
バイブレーションプレート	MVC-F60H	1台		
ダンピングランマー	MT-55H-SS	2台		
漏 水 探 知 機	フ ジ	FSB-8D	5台	
	フ ジ	HG-10AII	4台	
	フ ジ	HG-10	1台	
鉄 管 探 知 機	フ ジ	PL-801GXII	2台	
金 属 探 知 機	F-90 他	2台		
自記録水圧測定器	DSL-H-21	3台		
LEDバルーン投光機	LB030CC-1	2台		

## 水道部 所有車両 一覧表

無線車：26台 放送車：15台

車両番号	車名	無線No.	放送設備 有 無	配 備 用 途		備 考
				復旧班	給水班	
1	三菱 (ランサーカーゴ)	1	有	○		小貨物
2	いすゞ (エルフ)	10	有	○		普トラ
3	三菱 (ミニキャブ)	18		○		軽トラ
6	三菱 (キャンター)	11	有	○		普トラ
7	スズキ (キャリイ)	15	有	○		軽トラ
8	三菱 (ミニキャブ)	22			○	軽貨物
9	スズキ (エブリイ)	9	有	○		軽貨物
10	スズキ (エブリイ)				○	軽貨物
11	スズキ (エブリイ)				○	軽貨物
12	スズキ (エブリイ)	12		○		軽貨物
13	スズキ (エブリイ)	13	有	○		軽貨物
15	スズキ (エブリイ)	19			○	軽貨物
16	スズキ (エブリイ)	8	有	○		軽貨物
17	三菱 (ランサーカーゴ)	25	有	○		小貨物
18	スズキ (エブリイ)				○	軽貨物
19	スズキ (エブリイ)	14	有	○		軽貨物
20	マツダ (キャブオール2t)				○	給水車
21	スズキ (エブリイ)	23			○	軽貨物
22	スズキ (エブリイ)	16	有	○		軽貨物
23	スズキ (ダンプ)	7	有	○		軽ダンプ
24	いすゞ (エルフ3t)	3			○	給水車
25	スズキ (エブリイ)	5		○		軽貨物
26	日野 (デュトロ)	27		○		小ダンプ
27	スズキ (エブリイ)	21	有		○	軽貨物
29	日産 (バネットバン)	20		○		小貨物
30	三菱 (ミニキャブ)		有	○		軽トラ
31	スズキ (エブリイ)	26		○		軽貨物
32	三菱 (キャンターダンプ)	6		○		小ダンプ
34	いすゞ (エルフ)	24		○		普トラ
36	スズキ (エブリイ)		有	○		軽貨物
37	いすゞ (エルフ2t)	17	有		○	給水車
38	日野4t	30			○	給水車
計		26	15			

小ダンプ：2台 普トラック：3台 小貨物：3台 軽貨物：16台 軽トラック：3台

給水車：4台 軽ダンプ：1台 計：32台

### 耐震貯水槽設置場所一覧表

昭和52年度 100 t		30	内 浦 重 須	6	岡 一 色	6	東 原
1	江 原 町	31	稲 荷 町	7	赤 坂	7	松 沢 町
2	中 石 田	32	志 下	8	岡 宮	8	庄 栄 町
3	白 銀 町	33	大 平 山 口	9	多 比	9	東 熊 堂
4	浅 間 町	34	大 平 御 前 婦	10	大 岡 伝 馬 町	10	本 田 町
5	緑 町	35	三 園 町	11	吉 田 町	11	高 尾 台
6	槇 島 町	36	下 石 田	12	高 田	昭和54年度 40 t	
7	藤 井 原	37	新 沢 田	13	南 小 林	1	富 士 町
昭和52年度 40 t		38	今 沢 団 地	14	西 椎 路	2	松 長 町
1	東 原ニュータウン	39	沼 北 町	15	柳 沢 門	3	市 場 町
2	東 原	40	原 西 町	16	東 間	4	宮 原 子 町
3	赤 坂	41	一 本 松	17	志 下	5	丸 脇 郷
4	東 椎 路	42	桃 里	18	馬 込	6	宮 脇 郷
5	西 沢 田	43	東 熊 堂	19	大 諏 訪	7	島 中 瀬
6	中 沢 田	44	岡 宮	20	植 田	8	中 熊 堂
7	長 塚 町	45	南 小 林	21	六 軒 町	9	西 熊 堂
8	南 小 林	46	大 平 池 田	22	西 井 出	10	東 桃 葉 郷
9	西 間 門	47	三 園、玉 江	23	東 井 出	11	双 葉 町
10	上 石 田	48	三 貫 地	24	志 多 町	12	東 椎 路
11	沼 北 町	49	西 沢 田	25	石 川	13	南 条 寺
12	五 月 町	50	塩 満	26	玉 江 町	14	原 西 町
13	北 高 島 町	昭和53年度 100 t		27	本 郷 町	15	鳥 谷
14	造 り 道	1	駿 河 台	28	自 由ヶ 丘	16	岡 宮 島
15	米 山 町	2	東 椎 路	29	東 椎 路	17	西 石 田
16	内 浦 三 津	3	高 島 町	30	東 熊 堂	18	下 石 田
17	高 島 町	4	北 高 島 町	31	大 岡 駅 前 町	19	下 石 田
18	木 瀬 川	5	西 間 門	32	小 屋 敷	20	原 東 町
19	富 士 見 町	6	高 沢 町	33	岡 宮	21	西 沢 田
20	松 長	7	緑ヶ 丘	34	日 吉 長 者 町	22	平 沼
21	小 諏 訪	8	岡 宮	35	蛇 松 町	23	根 古 屋
22	高 田 町	9	山 王 台	36	荒 久	24	青 野
23	牛 臥	10	木 の 宮	37	西 熊 堂	25	志 下
24	千 本 港 町	昭和53年度 40 t		昭和54年度 100 t		26	千 本 緑 町
25	中 瀬 町	1	柿 原	1	下 河 原	27	西 浦 久 連
26	吉 田 町	2	島 郷	2	我 入 道 林 町	28	西 浦 古 宇
27	外 原	3	南 条 寺	3	真 砂 町	29	大 平、戸ヶ 谷
28	八 重	4	花 園 町	4	今 沢	30	内 浦 重 寺
29	馬 場	5	共 栄 町	5	西 添 町	31	西 村

32	筒井町	2	吉田町	3	北今沢	4	志下
33	門池町	3	大平横代	平成4年度 40 t		平成13年度 40 t	
34	北小林	昭和58年度 100 t		1	大平	1	小諏訪
35	北小林	1	我入道公園	2	駿河台	2	大岡
36	上石田	昭和58年度 40 t		3	木瀬川	3	江原町
37	中沢田	1	口野	平成5年度 40 t		4	千本
38	五月町	2	大塚	1	内浦三津	平成14年度 40 t	
39	新沢田	3	本田町	2	宮前町	1	大岡
40	寿町	4	小屋敷	平成6年度 40 t		2	岡宮
昭和55年度 40 t		昭和59年度 40 t		1	泉町	平成15年度 40 t	
1	西浦足保	1	大平	2	花園町	1	大諏訪
2	西浦立保	2	下石田	平成7年度 40 t		2	高尾台
3	西浦久料	3	小諏訪	1	平沼	平成16年度 40 t	
4	西椎路	昭和60年度 40 t		2	上土町	1	今沢
5	西浦江梨	1	東椎路	平成8年度 40 t		平成17年度 40 t	
6	西浦木負	2	島郷	1	原一本松	1	西条町
7	西浦平沢	3	原町中	2	千本	2	米山町
8	東名町	昭和61年度 40 t		3	三枚橋	平成18年度 40 t	
9	内浦長浜	1	松長	4	市場町	1	常盤町
10	島郷	2	岡一色	平成9年度 40 t		2	松沢町
11	石原	3	中原	1	原新田	平成19年度 40 t	
12	下障子	昭和62年度 100 t		2	原東町一区	1	東沢田
13	杉崎町	1	岡一色	3	獅子浜	平成20年度 40 t	
14	西沢田	昭和62年度 40 t		4	北今沢	1	西浦久連
15	荒久	1	木の宮	平成10年度 40 t		平成21年度 40 t	
16	大平大井	2	香貫山	1	神田町	1	大平梨ノ木
17	内浦小海	昭和63年度 40 t		2	原大塚	2	今沢
18	西沢田	1	沢田	3	平沼	3	大岡南小林
19	大諏訪	2	下河原	4	重須	平成22年度 40 t	
20	江浦	平成元年度 40 t		平成11年度 40 t		1	戸田平戸
21	松長	1	大塚	1	本郷町	2	岡宮
22	松長	2	末広町	2	大岡豆生田	平成17年度	
昭和56年度 40 t		平成2年度 40 t		3	木瀬川	戸田合併による耐震貯水 40 t	
1	足高拓南	1	足高宮本	4	陽光台	1	新田
2	木瀬川	2	大平小山	平成12年度 40 t		2	中上
3	岡一色	平成3年度 40 t		1	岡宮	3	平戸
昭和57年度 40 t		1	沼北町	2	大岡駅前町	4	大門
1	幸町	2	木瀬川	3	大岡中石田	5	鬼川

6	小 中 島	令和4年度 40 t
7	大 中 島	1 西 椎 路
8	入 浜	令和5年度 40 t
9	御 浜	1 御 幸 町
10	井 田	令和6年度 40 t
11	井 田	1 原
12	舟 山	
13	舟 山	
14	舟 山	
平成17年度 戸田合併による耐震貯水 60t (飲料水用循環式)		
1	上 野	
平成23年度 40 t		
1	西 浦 河 内	
平成24年度 40 t		
1	市 道	
2	岡 宮	
平成25年度 40 t		
1	岡 宮	
平成26年度 40 t		
1	丸 子 町	
平成27年度 40 t		
1	宮 本	
2	上 野	
平成28年度 40 t		
1	大 平 鴻 鳥	
平成29年度 40 t		
1	八 重 坂	
2	下 香 貫 猪 沼	
平成30年度 40 t		
1	西 浦 平 沢	
令和元年度 40 t		
1	駿 河 台	
2	大 岡 上 西 耕 地	
令和2年度 40 t		
1	中 沢 田	
令和3年度 40 t		
1	東 椎 路	

応 急 水 活 動 表 等 の 配 備 )  
 ( 給 水 車 及 び 可 搬 式 給 水 タ ン ク )

区分	種 別	容 量	台 数	保 管 場 所	応 急 給 水 活 動 の 内 容
1	移 動 給 水 車	4, 0 0 0 0	1 台	双 葉 水 源 地	○ 他のもよりも給水の機動性が高いので、特別給水拠点を優先し、給水活動を行う。
		3, 0 0 0 0	1 台	水 道 部 庁 舎	
		2, 0 0 0 0	1 台	戸 田 浄 化 セ ン タ ー	
		2, 0 0 0 0	1 台	双 葉 水 源 地	
2	給 水 タ ン ク (アルミニウム製)			岡宮配水池 2 泉 水源池 2 双葉水源池 2 静浦配水池 2 足高第1配水池 2 八重配水池 2	○ 運搬車に積載、取水場所から注水し、所定の給水拠点へ搬送、配備されているキャンバス水槽又は住民個々の容器へ給水を行う。
		1, 0 0 0 0	2 6 台		
		1, 5 0 0 0	1 台	双 葉 水 源 地	
3	車 載 用 給 水 容 器 ( ビ ニ ル 製 )	1, 0 0 0 0	1 袋	水 道 部 庁 舎	○ 運搬車に積載、取水場所から注水し、所定の給水拠点へ搬送、配備されているキャンバス水槽又は住民個々の容器へ給水を行う。
4	給 水 袋	6 0	12, 0 0 0 枚	水 道 部 庁 舎	○ 必要とする給水拠点へ搬送し、順次使用する。

## 応 急 給 水 水 源 一 覧 表

(水 源 地 取 水 量)

No.	水源地名	取水量 (m <sup>3</sup> /日)	No.	水源地名	取水量 (m <sup>3</sup> /日)
1	泉 水 源 地	80,000	13	河 内 水 源 地	1,690
2	双 葉 水 源 地	3,500	14	古 宇 水 源 地	640
3	柳 沢 水 源 地	6,820	15	江 梨 水 源 地	230
4	井 出 水 源 地	5,480	16	雉ヶ尾水源	2,000
5	原 水 源 地	5,140	17	新 田 水 源	180
6	石 川 水 源 地	2,870	18	戸 田 第 1 水 源	1,010
7	沢 田 水 源 地	4,930	19	戸 田 第 3 水 源	1,200
8	北 小 林 水 源 地	4,450	20	戸 田 第 5 水 源	2,620
9	足 高 水 源 地	2,410	21	井 田 水 源 地	60
10	青 野 水 源 地	1,120	22	赤ノ田水源地	154
11	木瀬川水源地	13,440			
12	内 浦 水 源 地	420		計	140,364

(配 水 池 貯 水 量)

No.	配水池名	貯水量 (m <sup>3</sup> )	No.	配水池名	貯水量 (m <sup>3</sup> )
1	八 重 配 水 池	9,800	20	東原ニュータウン配水池	120
2	中 瀬 配 水 池	3,300	21	柏 葉 尾 配 水 池	250
3	岡 宮 配 水 池	21,000	22	口 野 配 水 池	50
4	足高第一配水池	2,500	23	木 負 配 水 池	200
5	足高第二配水池	1,500	24	古 宇 配 水 池	525
6	椎 路 配 水 池	500	25	江 梨 配 水 池	300
7	北 小 林 配 水 池	2,600	26	新 田 配 水 池	32
8	柳 沢 配 水 池	3,000	27	達磨橋第1配水池	375
9	井 出 配 水 池	2,400	28	達磨橋第2配水池	1,000
10	石 川 配 水 池	1,000	29	達磨橋第3配水池	1,000
11	原 配 水 池	3,000	30	御 浜 配 水 池	100
12	沢 田 配 水 池	1,000	31	柳ヶ窪配水池	500
13	東熊堂配水池	1,060	32	烏ヶ原配水池	100
14	西熊堂配水池	300	33	舟 山 配 水 池	63
15	木瀬川配水池	1,800	34	井 田 配 水 池	86
16	静 浦 配 水 池	2,000			
17	内浦重須配水池	850			
18	河 内 配 水 池	1,000			
19	青 野 配 水 池	1,500		計	64,811

## ろ水器配置先一覧表

	避難地名	圏域内人口(人)	ろ水器数
1	第一小学校	4,643	1
2	中央公園	522	2
3	第一中学校	2,681	1
4	浅間神社(浅間公園)	975	1
5	沼津西高校	5,983	1
6	第二中学校	2,087	2
7	第三中学校	8,382	1
8	沼津工業高校	2,443	2
9	香貫小学校	4,879	1
10	沼津市総合体育館	5,232	2
11	第四小学校	4,145	1
12	山王公園	3,125	1
13	市立高校・中等部	1,180	1
14	第五中学校	1,900	1
15	加藤学園高校	1,016	2
16	第五小学校	2,820	1
17	開北小学校	6,360	1
18	駿河グラウンド	3,695	2
19	門池小学校	4,006	1
20	門池中学校	1,717	1
21	沼津工業高等専門学校	4,260	1
22	沼津東高校	3,927	1
23	飛龍高校	641	1
24	金岡中学校	4,522	2
25	金岡小学校	5,258	2
26	沢田小学校	5,947	2
27	駿河台公園	2,159	2
28	豊町公園	2,062	1
29	大岡小学校	4,669	1
30	大岡南小学校	12,142	2
31	大岡中学校	2,777	1
32	愛鷹地区センター	8,460	1
33	西部市民運動場	6,154	1
34	片浜小学校	4,221	1
35	片浜中学校	4,569	2
36	今沢小学校	6,110	2
37	大平小学校	1,765	1
38	大平中学校	1,680	1
39	沼津市文化財センター	2,720	1
40	南部浄化センター	2,080	1
41	旧内浦小学校(上グラウンド)	954	1
42	旧西浦小学校	954	1
43	原小学校	7,969	2
44	原東小学校	5,484	2
45	原中学校	3,370	2
46	浮島小学校	3,096	1
47	我入道コミュニティ防災センター	1,107	1
48	我入道公園	2,179	1
49	長井崎小中一貫学校	914	1
50	B&G海洋センター	711	1
51	井田コミュニティ	51	1
52	舟山ふれあい広場	42	1
53	県立沼津視覚特別支援学校	679	1
54	県立沼津聴覚特別支援学校	803	1

※圏域内人口についてはR7年4月1日現在の推計値

# 応 急 復 旧 用 資 機 材 備 蓄 一 覧 表

(単位 本)

保管場所 資材名	双葉水源地			山ヶ下資材置場			水道部倉庫			高沢備蓄倉庫		
	口 径	K 形	NS形	口 径	K 形	NS形	口 径	K 形	NS形	口 径	K 形	NS形
ダクタイル 鑄 鉄 管				φ 75 φ 100 φ 150 φ 250 φ 300 φ 400 φ 500 φ 600 φ 700 φ 800 φ1000	15 4 13 7 7 2 1 1 1 1 1	4						
特殊押輪	φ 75 φ 100 φ 125 φ 150 φ 200 φ 250 φ 300 φ 350 φ 400	2 12 3 13 4 4 4 6										
曲 管	φ 75 φ 100 φ 150 φ 200 φ 250 φ 300	15 4 1										
継 輪	φ 75 φ 100 φ 150 φ 200 φ 250 φ 300 φ 350	1 2 1 1 2		φ 500 φ 800 φ 1000	1 2 2							
短管 1 号	φ 75 φ 100 φ 150 φ 200 φ 250 φ 300 φ 400	1 1 1 1 1 1 1										
短管 2 号	φ 75 φ 150 φ 250 φ 300											
仕 切 弁	φ 150 φ 200 φ 250 φ 300		1 1 1 1									

保管場所 資材名	双葉水源地		山ヶ下資材置場		水道部倉庫		高沢備蓄倉庫	
	口 径		口 径		口 径		口 径	
ビニール ライニング管	φ 20	3						
	φ 30	7						
	φ 50	1						
	φ 65	2						
	φ 100	2						
	φ 150							
HIビニールソケット					φ 16	48		
					φ 20	14		
					φ 25	31		
					φ 30	15		
					φ 40	31		
					φ 50	31		
					φ 75	11		
					φ 100	6		
					φ 150	3		
フクロジョイント	φ 100	2			φ 40	9	φ 75	2
	φ 150	2			φ 50	15	φ 100	2
					φ 75	9	φ 125	2
					φ 100	8	φ 150	7
					φ 150	3	φ 200	2
					φ 300	1		
ドレッサージョイント					φ 75	29	φ 75	29
					φ 100	22	φ 100	70
					φ 125	16	φ 150	68
					φ 150	29		
離脱防止付 ジョイント					φ 75	13	φ 50	5
					φ 100	6	φ 75	10
					φ 150	9	φ 100	5
					φ 200	1	φ 150	10
三割ジョイント					φ 75	5	φ 50	4
					φ 100	9	φ 75	8
					φ 125	3	φ 100	13
					φ 150	1	φ 125	4
					φ 200	2	φ 150	9
					φ 250	1	φ 200	3
					φ 300	1	φ 300	2
					φ 350	1	φ 350	2
					φ 450	1	φ 400	1
							φ 500	1
							φ 600	1

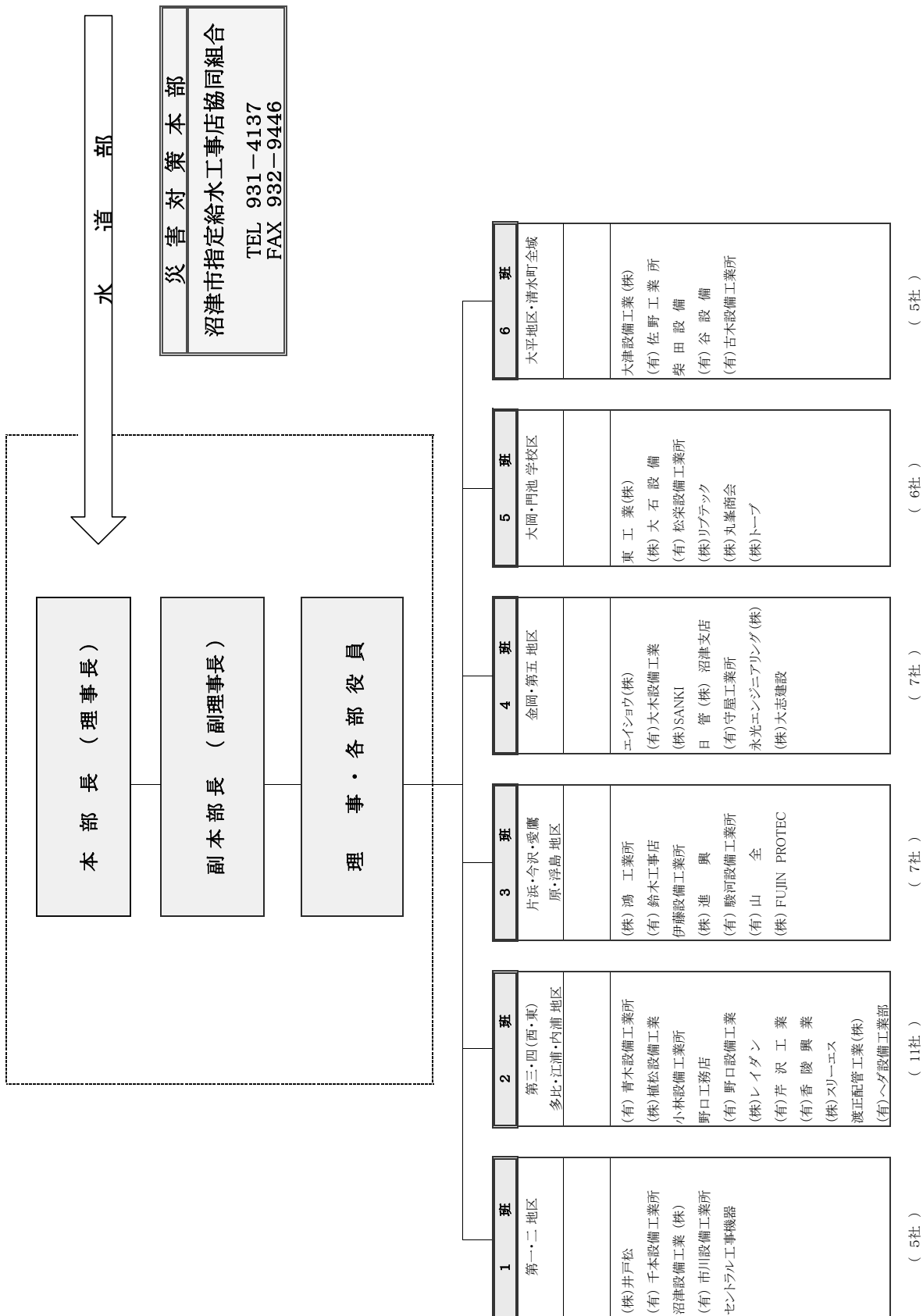
### 水道資材調達予定業者（市内）

業者名	所在地	電話番号
ヌ マ カ ン (株)	沼津市花園町7-10	055-922-5517

### 水道資材調達予定業者（市外）

業者名	所在地	電話番号
三 條 機 材 (株)	東京都世田谷区玉川台2-3-18	03-3700-4111
一 色 機 材 (株) 沼 津 営 業 所	駿東郡清水町卸団地50	055-971-0601
三 共 鋼 材 (株)	駿東郡清水町伏見384	055-971-8877
(株) 村 松 商 店 東 部 支 店	裾野市伊豆島田723-1	055-992-4801

# 沼津市指定給水工事店協同組合 災害対策本部組織



## 沼津市指定給水工事店連絡班編成表

沼津市指定給水工事店協同組合

班別	地区	工事店		
		事業所名	所在地	
1	第一、二地区 (5社)	(株)井戸松	末広町 116	962-1306
		(有)千本設備工業所	常盤町 3-12-3	963-4487
		沼津設備工業(株)	大手町 4-2-7	962-2988
		(有)市川設備工業所	東間門 2-2-4	963-4690
		セントラル工事機器	西間門 584-1	963-0953
2	第三、第四(西・東) 多比、江浦、内浦地区 (11社)	(有)青木設備工業所	下香貫 八重 30-3	931-5471
		(株)植松設備工業	下香貫 牛臥 3044	931-2476
		小林設備工業所	内浦小海 91-26	943-2840
		野口工務店	我入道 江川町 13-1	932-7985
		(有)野口設備工業	下香貫 下障子 3198	931-1967
		(株)レイダシ	下香貫 藤井原 1651-1	931-2947
		(有)芹沢工業	我入道 浜町 342-3	932-6197
		(有)香陵興業	西島町 3-24	932-8257
		(株)スリーエス	下香貫 塚田 2233-1	933-7566
		渡正配管工業(株)	多比 154-1	939-1338
(有)へダ設備工業部	戸田 1087-2	0558-94-2120		
3	片浜、今沢、愛鷹 原、浮島地区 (7社)	(株)鴻工業所	大諏訪 515-2	921-9060
		(有)鈴木工事店	東椎路 1313-3	929-6337
		伊藤設備工業所	原町中 1-11-8	966-8120
		(株)進興	原 252-5	966-0678
		(有)駿河設備工業所	原 376-3	966-0093
		(有)山全	柳沢 207-4	967-7811
		(株)FUJIN PROTEC	松長 786	955-9000
4	金岡、第五地区 (7社)	エイショウ(株)	若葉町 3-46	921-6606
		(有)大木設備工業	寿町 14-22	921-9101
		(株)SANKI	筒井町 17-2	922-9804
		日管(株) 沼津支店	東熊堂 468-21	050-9012-2064
		(有)守屋工業所	沢田 232-1	921-8786
		永光エンジニアリング(株)	西沢田 310-1	925-1800
		(株)大志建設	西沢田 850-8	923-1128
5	大岡、門池 校区 (6社)	東工業(株)	大岡 2286-3	921-1796
		(株)大石設備	大岡 525-7	962-7216
		(有)松栄設備工業所	大岡 2700-17	921-2182
		(株)リブテック	足高 319-116	939-6010
		(株)丸峯商会	米山町 10-30	921-2334
		(株)トープ	宮前町 10-4	921-5253
6	大平地区、清水町全域 (5社)	大津設備工業(株)	大平 2874-158	931-0796
		(有)佐野工業所	清水町 伏見 14-2	975-4296
		柴田設備	大平 2277-55	932-2115
		(有)谷設備	清水町 徳倉 1103-3	932-5214
		(有)古木設備工業所	大平 1875	931-2717

沼津市指定給水工事店保有機械一覧表

班名	校区	工事店名		機械名						ダンプ		トラック		バックホウ	削岩機	ランマ	カッター	発電機	エンジンポンプ	
		井戸	松	1t以下	2t	2t超	1t	1t-2t	2t超	1t	2t									
1	第一、第二地区 (5社)	(株)井戸松			1									1					1	
		(有)千本設備工業所				1	1									2	1	2		
		沼津設備工業(株)					1									1		1		
		(有)市川設備工業所				1										2	1	1	2	
		セントラル工事機器				1	2									2	1	1	1	
		(有)青木設備工業所				1										1	1	2	1	
		(株)植松設備工業					1									1	1	1	1	
		小林設備工業所														1	1	2	1	
		野口工務店														1				
		(有)野口設備工業				1										1	6	1	1	3
		(株)レイダシ														1				
2	第三、第四(西・東) 多比、江浦、内浦 地区 (11社)	(有)芹沢工業			1											3	1	1		2
		(有)香陵興業				1														
		(株)スリーエス					1													
		渡正配管工業(株)			2		10	3	4	1					10	8	5	4	13	6
		(有)ハダ設備工業部				1		1							1	3	1	2	1	
		(株)鴻工業所			2	3	4	5							6	7	3	6	7	5
		(有)鈴木工事店			1	1		1							2	4	2	3	3	4
		伊藤設備工業所			1	1		1							2	3	1	3	2	
		(株)進興			1	2	1	1							4	4	2	3	4	2
		(有)駿河設備工業所			1		1	1							1	1	1	2	1	1
		(有)山全				1									1	2	1	1	1	
3	片浜、今沢、愛鷹 原、浮島地区 (7社)	(株)FUJIN PROTEC					1													
		エイシヨウ(株)			1															
		(有)大木設備工業					1								1	2	1	1	1	2
		(株)SANKI					3	1							5	9	2	4	5	5
		日管(株)沼津支店																		
		(有)守屋工業所					1								1	2	1	2	1	1
		永光エンジニアリング(株)																		
		(株)大志建設				1		2	3						3	1	2	2	4	1

班名	校区	工事店名	機械名				ダンプ				トラック			バックホウ	削岩機	ランマ	カッター	発電機	エンジンポンプ		
			1t以下	2t	2t超	1t	1t-2t	2t超	1t	1t-2t	2t超										
5	大岡、門池 校区 (6社)	東工業(株)				6									4				6		
		(株)大石設備		1											1				1		
		(有)松栄設備工業所		1											1				1		
		(株)リブテック			1				1						1				2	1	
		(株)丸峯商会					1									2				1	
		(株)ト					1								1					2	3
6	大平地区・清水町全域 (5社)	大津設備工業(株)			2		2		3					5	6	2			3		
		(有)佐野工業所		1				1						1	1	1			1	1	
		(株)栗田設備						1							2	2			1	1	
		(有)谷設備					1								4	3	3		5	2	
		(有)古本設備工業所													1	1			1	1	
		計		10	20	31	42	18	3	58	94	41	60	80	37						
合																					

## 水道施設の現況と被害想定

### ① 泉水源地関係

- ア 取水…本市の配水量の約2/3を泉水源地から取水している。  
この水源地は洪積世末期、富士火山の噴火により、箱根火山と愛鷹火山の裾合谷を空隙率の高い溶岩流が流下し、その中を水脈となって流下した地下水が湧出しているもので、過去の大地震によっても湧出量、水質の変化がほとんど記録に残されていない。また、学識経験者の意見でも心配はない模様である。しかし、湧水池については、石積の崩壊、原水の濁りが一時的に発生するものと思われる。
- イ 送水管…岡宮配水池、中瀬配水池及び八重配水池に送水する管路の一部に狩野川、鉄道、国道等の横断箇所があり、その被害は避けられないと考えられる。
- ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、各配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流失防止堤が設置されているので、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- エ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)については、配管の継手部分の折損等の軽微な被害と思われる。  
電気関係については、比較的安全と思われる。
- オ 配水池…岡宮、八重配水池については、耐震補強工事实施済みのため、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また、岡宮、中瀬、八重の各配水池には、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してあるが、中瀬配水池の流入管は老朽化のため、一部被害が考えられる。

### ② 柳沢水源地関係

- ア 取水…当地区は、泥、砂礫からなる地盤である。深井戸2井より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒砂が噴出し濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管…深井戸2号井から水源までに布設してある管路は、地盤が軟弱なため、部分的に継手の離脱が考えられる。
- ウ 送水管…水源地から配水池まで布設してある管路は、急傾斜地のため、山くずれが生じた場合は被害が考えられる。
- エ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止堤が設置されているので、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- オ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)電気関係の設備は令和3年度に更新しており、被害はともに軽微と考えられる。  
また、停電時には自家用発電機を設置しているため、揚水及び加圧送水が可能である。
- カ 配水池…愛鷹ローム層からなる地盤上にあるが、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。しかし、外構部分のブロック積みに一部崩壊が考えられる。なお、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

### ③ 井出水源地関係

- ア 取水…砂礫層からなる地層のため、比較的軟弱な地盤である。深井戸3井から取水

しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒砂が噴出し、濁りが発生することが考えられる。

- イ 導水管…深井戸1号、2号井は水源地構内にあり、管路の延長も短いことから、被害も軽微と考えられるが、深井戸3号井から水源地まで布設してある管路は長く、軟弱地盤のため部分的に継手部の被害が考えられる。
- ウ 送水管…水源地から配水池まで布設してある管路は、急傾斜地のため、山くずれが生じた場合は被害が考えられる。
- エ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止堤を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- オ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)の被害は軽微と思われる。電気設備は平成23年度に更新しており、被害は軽微と思われる。
- カ 配水池…砂礫層からなる地盤上にあるが、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。しかし、外溝部分のブロック積みに一部崩壊が考えられる。なお、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ④ 原水源地関係

- ア 取水…泥質地盤を主体とした軟弱な地帯である。深井戸2井より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管…深井戸1号、2号井から配水池まで布設してある管路は埋立地であることから、継手部分での被害が考えられる。
- ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止堤を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- エ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)については、可とう伸縮管を設置しており、配管継手部分の折損等は軽微な被害と思われる。また電気関係においても若干の被害が生じるおそれがある。しかし、自家用発電機を設置しているため、停電時においても、配水池からの加圧送水は可能である。
- オ 配水池…軟弱地帯である地盤上にあるが、PC構造であり、令和3年度に耐震補強工事済みのため躯体そのものが崩壊することはないと思われる。しかし、外溝部分のブロック積みに一部崩壊が考えられる。なお、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑤ 北小林水源地関係

- ア 取水…火山砂礫が主体の地質である。深井戸から取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管
- ウ 送水管…深井戸1号井は、水源井戸から直接配水池に揚水され、延長も短いため被害は軽微と思われる。
- エ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止堤を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- オ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり、一体構造のため被害は軽微と思われる。

オ 配水池…愛鷹ローム層からなる地盤上にあるが、耐震構造となっているので躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑥ 石川水源地関係

ア 取水…砂礫層からなる地層のため、比較的軟弱な地盤である。深井戸から取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管…深井戸1号、2号井とも水源地から配水池まで布設してある管路は、延長も長いことから、部分的に継手部の被害が考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり一体構造のため、被害は軽微と考えられる。

オ 配水池…平成18年度、19年度に耐震補強工事を実施し、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。外溝部分のブロック積みに一部崩壊が考えられる。

#### ⑦ 沢田水源地関係

ア 取水…愛鷹ローム、砂礫からなる地層である。深井戸2井より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。一時的に微粒砂が噴出し濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管…深井戸1号井から配水池まで布設してある管路は延長も長いことから部分的に継手部の被害が考えられる。

深井戸2号井は、水源井戸から直接配水池に揚水している施設であるので、被害は軽微と考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)については、配管継手部分の折損等の軽微な被害と思われる、電気関係についても若干の被害が生じるおそれがあると考えられる。しかし、自家用発電機を設置しているため、停電時においても揚水が可能である。

オ 配水池…愛鷹ローム層からなる地盤上にあるが、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑧ 双葉水源地関係

ア 取水…砂礫層からなる地層である。深井戸から取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管…水源井戸から直接ポンプ井に揚水している施設であるので、被害は軽微と考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止提を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり、一体構造のため被害は軽微と考えられる。また、停電時には自家用発電機を設置しているため、揚水及び加圧送水は可能である。

#### ⑨ 足高水源地関係

ア 取水…愛鷹ローム、砂礫からなる地層である。深井戸2号井より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管

送水管…深井戸1号井からポンプ井まで布設してある管路は延長も長いことから部分的に継手部の被害が考えられる。深井戸2号井は、水源井戸から直接ポンプ井に揚水している施設であるが、延長が短いことから、被害は軽微と考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり、一体構造のため被害は軽微と考えられる。

オ 配水池…愛鷹ローム層からなる地盤上にあるが、耐震構造となっているので躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑩ 内浦水源地関係

ア 取水…砂礫層からなる地層である。深井戸から取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、地層の崩壊が起きやすく濁りが数日間発生することが考えられる。

イ 導水管…水源井戸から直接配水池に揚水している施設であり、延長も長く急傾斜地であり、山崩れ等による管の折損、継手離脱の被害が考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり、一体構造のため被害は軽微と考えられる。

オ 配水池…軟弱な地盤上にあるが、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。しかし、外溝部分のブロック積みに一部崩壊が考えられる。また、流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑪ 柏葉尾水源地関係

ア 取水…火山砂礫が主体の地質である。深井戸から取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管

送水管…深井戸2号井から配水池まで布設してある管路は延長も短いため、被害は軽微と思われる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…電気関係については比較的安全と思われる。

オ 配水池…ステンレス製で耐震構造となっているので、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑫ 木瀬川水源地関係

ア 取水…この水源地は泉水源地と同じく洪積世末期、富士火山の噴火により、箱根火山と愛鷹火山の裾合谷を空隙率の高い溶岩流が流下し、その中を水脈となって流下した地下水が湧出している。さく井管の崩壊はないと思われるが、原水の濁りが一時的に発生するものと思われる。

イ 送水管…送水する管路は、泉水源地関係の配管へ接続し、距離は短いため、被害は軽微(配水管)と思われる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止堤を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…施設設備は屋外にあり一体構造のため、被害は軽微と考えられる。

オ 配水池…耐震補強工事実施済みのため、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。

#### ⑬ 河内水源地関係

ア 取水…当地区は火山砂礫からなる地盤である。深井戸より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒砂が噴出し、濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管…深井戸1号井から直接着水井までに布設してある管路は、送水管延長も短いことから、被害は軽微と考えられる。着水井から配水池まで布設してある管路は、延長も長く、急傾斜地のため、山くずれが生じた場合は被害が考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)については、配管の継手部分の損傷等軽微な被害と思われる。また、電気関係については比較的安全と思われ、停電時にも自家発電機を設置しているため揚水は可能である。

オ 配水池…PC構造となっているので躯体そのものが崩壊することはないと思われる。また流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑭ 青野水源地関係

ア 取水…当地区は泥、砂礫からなる地盤である。深井戸1号、2号井より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒砂が噴出し、濁りが発生することが考えられる。

イ 導水管

送水管…深井戸1号井から配水池着水井までに布設してある管路は、延長も長く、急傾斜地のため、山くずれが生じた場合は被害が考えられる。深井戸2号井は、着水井までの管路の延長も短いことから、被害も軽微と考えられる。

ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

- エ 機械電気設備…機械関係（ポンプ）については、配管の継手部分の損傷等軽微な被害と思われる。また、電気関係については比較的安全と思われる。
- オ 配水池…愛鷹ローム層からなる地盤上にあるが、耐震構造となっているので、躯体そのものが崩壊することはない。

#### ⑮ 古宇水源地関係

- ア 取水…当地区は主に達磨山噴出物の安山岩等からなる地質で、一部には脆弱な部分も見られるが、さく井管が崩壊することは考えられない。しかし、一時的に微粒子が噴出し濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管…深井戸から直接配水池一体構造の着水井に揚水している施設であり、延長も長く、急傾斜地に布設しているが大部分が耐震性のあるポリエチレン管を使用しているため、被害は軽微と思われる。
- ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- エ 機械電気設備…機械関係（ポンプ）については、配管の継手部分の損傷等軽微な被害と思われる。電気関係は屋外にあり一体構造のため被害は軽微と思われる。また、停電時には自家用発電機を設置しているため揚水は可能である。
- オ 配水池…ステンレス製で耐震構造となっているので、躯体そのものが崩壊することはない。また流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑯ 江梨水源地関係

- ア 取水…当地区は主に達磨山噴出物の安山岩等からなる地質で、一部は脆弱な部分も見られるが、さく井管が崩壊することは考えられない。しかし、一時的に微粒子が噴出し、濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管…水源井戸から直接配水池一体構造の着水井に揚水している施設であり、延長も短く耐震管を使用しているため、被害は軽微と思われる。
- ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- エ 機械電気設備…機械関係（ポンプ）については、配管継手部分の損傷等軽微な被害と思われる。電気関係については、屋外にあり、一体構造のため被害は軽微と思われる。また、停電時には自家用発電機を設置しているため揚水は可能である。
- オ 配水池…ステンレス製で耐震構造となっているので、躯体そのものが崩壊することはない。また流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑰ 戸田地区関係

##### ア 新田水源地関係

- (ア) 取水…山の斜面に横穴を掘り湧水を取水しており、岩で囲まれているが山崩れが生じた場合、崩壊があると思われる。
- (イ) 送水管…水源から配水池まで減圧槽を介し、自然流下により送水してある管路  
導水管は、延長も長く露出部もあり、塩化ビニール管を使用している箇所もあることから、急傾斜地のため山崩れが生じた場合被害が考えられる。
- (ウ) 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

(エ) 配水池…躯体そのものが崩壊することはないと思われる。

#### イ 達磨橋系統水源地関係

- (ア) 取水…雉ヶ尾水源は、山の斜面に横穴を掘り湧水を取水しており、岩で囲まれているが山崩れが生じた場合、内部崩壊があると思われる。また、集水槽・接合槽も崩壊の危険性が高い。第5水源は、深井戸より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒子が噴出し濁りが発生することが考えられる。
- (イ) 導水管…湧水を配水池まで送水している管路は減圧槽を介し、自然流下により送水している。急傾斜地に布設してあり、延長も長く露出部もあり、塩化ビニール管を使用している箇所もあることから、被害が考えられる。深井戸の導水管は鋼管を使用しているが、河川横断等の露出部の配管継手部の破損が考えられる。
- (ウ) 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- (エ) 機械電気設備…機械関係（ポンプ）については、配管の継手部分の損傷等軽微な被害が考えられる。電気関係については、比較的安全と思われる。また、停電時には自家用発電機を設置しているため、揚水は可能である。
- (オ) 配水池…達磨橋第1・第2・御浜・柳ヶ窪・烏ヶ原配水池は、躯体そのものが崩壊することはないと思われる。達磨橋第1・第2、御浜、柳ヶ窪配水池には流出管部分に地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。また、平成27年度には達磨橋第3配水池を新設し供用している。

#### ウ 第3水源関係

- (ア) 取水…水の使用量が多い夏場等に、達磨橋配水池からの配水管へポンプで直接加圧して給水している水源で、取水については、深井戸より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒子が噴出し濁りが発生することが考えられる。配水管までの接続管は、延長も短いことから被害は、軽微と考えられる。
- (イ) 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。
- (ウ) 機械電気設備…機械・電気設備については屋内にあるが、倒壊等がなければ被害は軽微と考えられる。

#### ⑩ 井田水源地関係

- ア 取水…山間の表流水を取水している赤ノ田水源は、山崩れ等により取水口の崩壊が考えられる。井田水源については、深井戸より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われる。しかし、一時的に微粒子が噴出し濁りが発生することが考えられる。
- イ 導水管…赤ノ田水源より緩速ろ過池までの管路は、延長も長く露出部もあり、塩化ビニール管を使用していることから、急傾斜地のため山崩れが生じた場合、被害が考えられる。井田水源の深井戸より直接配水池に送水されている管路は短いことから被害は、軽微と思われる。
- ウ 滅菌装置…次亜塩素酸ソーダ貯槽の倒壊等はないと思われるが、配管継手部の破損が考

えられる。しかし、薬剤流出防止受皿を設置しているため、次亜塩素酸ソーダによる被害はないと思われる。

エ 機械電気設備…機械関係(ポンプ)については、配管継手部分の折損等の軽微な被害と思われ、電気関係についても軽微な被害と思われる。

オ 配水池…耐震性を有してないと思われ、亀裂等による損傷が考えられる。流出管部分には地震計をセットした緊急遮断弁を設置してある。

#### ⑱ その他水道施設関係(専用水道)

ア 市内には 32 箇所の専用水道がある。29 箇所が深井戸より取水しているが、さく井管が崩壊することはないと思われるが、一時的に濁りが発生することが考えられる。残りの 3 箇所は市水の配水管からの取水のため、市水の管路に異常が無ければ取水は可能である。

イ 送水管、配水管等は耐震性を有していない塩化ビニール管等を多くの箇所が使用しており、被害があると思われる。

ウ 滅菌設備については、配管部分の折損等の軽微な損傷と思われ、タンク等も小容量のため損傷しても、被害は軽微と思われる。

エ 機械関係については、ポンプ本体は配管継手部分の折損等の軽微な被害と思われるが、送水管接続部に塩化ビニール管を使用しているところが多いため、配水池等への送水に影響が出ると考えられる。電気関係については、軽微な損傷と考えられる。

オ 受水槽、配水池については、FRP 製のパネルタンクを使用しているところが数多く、多少の耐震性はあると思われるが、緊急遮断弁が設置されていないため、接続部の配管が損傷した場合、貯水が不能と考えられる。

#### ⑳ 配水管被害関係

本市の送・配水管は、各水源地、配水池からの管網で形成されている。耐震管の敷設も進めてはいるが、まだ、老朽管も多く、一部軟弱地盤に埋設されている。

管路は、継手部分の離脱、管の折損などの被害が予想される。また、管路の被害部位で、管種にもよるが、①折れ、②抜け、③割れ、に被害は集中するものと考えられる。特に、狩野川の橋梁に添架及び各河川に架設してある水管橋は、その接続部位の離脱が考えられる。

#### ㉑ 給水装置被害関係

本市の給水装置は、昭和 55 年まで取り出し部分に鉛管、道路部は鋼管、宅地内は鋼管及びビニール管が使用され、昭和 56 年以降は、取り出し部分に伸縮継手を使用し、その先は耐衝撃性硬質塩化ビニール管を使用している。

給水管の被害は、地震動そのものと地盤変化に伴うものがあると考えられる。

鋼管、ビニール管は地震動に弱く、特に直管部より異形管部に被害が多く発生すると考えられる。